

# 「正社員雇う業界に」 JDA 総会

あいさつする丹澤会長



全国運輸代行協会(丹澤忠義会長、JDA)は15日、中央区・鉄鋼会館で第20回通常総会を開催。事業計画を決めた。業界健全化のため、料金の表示法や算出根拠の各地の現状について意見交換した。前専務理事の辞任に伴い、元専務理事の栗原和夫顧問が理事に就任。23日の理事会で再び専務理事に選任の予定。丹澤会長は、運輸代行業が

いさつ。健全化のため法整備を要望する上でも、協会会員を増やすことが重要と呼び掛けた。意見交換では「設定は各社の自由だが、現在は距離制、時間距離併用などが混在し、初乗り距離や加算もバラバラ。表示方式だけでも統一できないか」との問題提起があった。各地の事業者は「運賃が一定幅のタクシーですら経営が厳しい。2人で運行する代行で正社員採用するにはタクの2倍の料金が必要」「表示統一には全社でメーター機を義務化する必要がある」などの意見があった。警察庁、国土交通省の担当官らが来賓出席した。

半世紀の歴史を経て、規模や社会的地位が向上したとする一方、「アルバイトの割合が85%でない」と経営できない状態はおかしい。正社員を雇う業界にしなれば」とあ

い。2人で運行する代行で正社員採用するにはタクの2倍の料金が必要」「表示統一には全社でメーター機を義務化する必要がある」などの意見があった。警察庁、国土交通省の担当官らが来賓出席した。